

19/3/25 名古屋城石垣部会

(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

13:27 写真・ビデオは出席者の紹介まで

13:30

岩本：始める

議事が終わったら会見、本丸からめ手馬出 視察をする
同行する方はどうぞ

西野：こんにちは

出席ありがとう

議題4点 下の1点は本丸石垣の発掘調査

それ以外は先般市長が文化庁に出向いて、「耐震性が低い、
老朽化が進んでいる」解体をしたい

解体申請したい

文化庁から留意点 石垣部会の先生の意見を付して

3項目について審議してほしい

岩本：出席者紹介

北垣、赤羽、千田、宮武

西田、中井、高田は欠席

教育委員会、名古屋城総合事務所、

洲崎さんは遅れている

報道の皆さん 写真・ビデオの撮影は終了させていただく

進行は座長に一任

13:35

北垣：石垣部会として検討してきたことで、いわゆる議事4点

資料1-4 いずれも一つ一つが重い重要な案件

石垣部会として、これまで実施してきた、している現状を
ちょっと頭出し 申し上げたいと思う

まず、1点目 昨年度から繰り返し事務局の方に申しているが、
天守台の内堀 底面追加調査の必要性が一つある

2点目 天守解体に伴う様々な工事に伴う、内堀、対岸側
御深井丸 念頭にある

3 点目 本質的価値を問うてきた 天守台石垣保全 石垣勾配の問題

現在事務局に鋭意調査進めている そういったことでの調査研究の必要性

たとえば、見学していただく大手搦め手馬出石垣 10年経過して

根石が出てきている 現場で見ただけならば

これからの大天守台 そういったあたりに継続していく課題がある

そういった成果に基づく危険要素の改善策をどうするか

多くのものが石垣部会としてもサボっているわけではない

かなりやらせてもらっている 基礎的な調査が機能していない

もともとの4点は最初の方で 解体に伴う影響 本丸資料の中に上がっている

ごくごく最近いただいたもの 一つ一つ全部いけたらいいが内容が多岐にわたる

資料1から検討していきたい

事務局と相談しておけばよかった 時間 1時半～ 3時過ぎまで?

そのあと記者会見少々して、そのあと現場搦手馬出 4時くらいになる

可及的速やかに進める

議事1 現天守閣の解体に伴う石垣への影響について 事務局に説明を求める

蜂矢：説明する

1階スラブ+スラブから跳ねだしたもの

穴蔵部分は解体しない

商店主も同様

仮設物 左 軽量盛り土 2 仮設構台

仮設栈橋イメージ

仮設物 天端をシートで覆う

穴蔵内部雨水 ポンプアップする

005 現状変更許可を6月に取得予定

ステップを説明している

006 跳ねだし部分スラブ 4階床 斜めになっている

天守台石垣と石垣 EPSをかませる

007 浮き上がろうとする際のリバウンド解析 非常に小さなもの

軽微だと判断している

008 解体の工法 振動発生が大幅に抑えることができる

4.9デシベル 震度ゼロ ほとんど人は感じない

009-018 荷重等への石垣への影響 FEM解析

そこにクレーンが載った影響

工事車両が走った影響

栈橋の影響

019 石垣モニタリング 振動計測 軽微であると考えているが、
はらみ、割れている 継続的モニタリング
石垣等への変動が確認された場合、常に体制を整える
内堀保護構 沈下計測を行っていく
振動計を設置する
50デシベルを基準とする

13:50

北垣：ありがとう ご意見を

赤羽：説明していただいたが、003 左下 仮設計画配置図
搬入路 2-2-1 名城公園北→仮設構台→内堀
004 仮設構台
2-2-1 仮設棧橋 御深井丸？本丸搦手馬出にあたるのでは？

蜂矢：搦手馬出は右端
消失時に撤去した礎石があるところに棧橋がくる

赤羽：本丸搦手石垣 撤去された石が置いてあるのは？

蜂矢：着色されていない内堀においてある
今回、手を加えるわけではない

赤羽：搦手石垣積み直しと、仮設棧橋が影響は全くないか

蜂矢：基本的にはない

蜂矢：基本的には、という意味は？

蜂矢：礎石をどう動かすか決まっていない
重機を二の丸から入れる
重ならないものと考えている

宮武：工事に伴う仮設道路 施行対象範囲内 005 工程表
7月から準備工に入る
現状変更許可が必要

トレンチ調査が必要
手続き上の調査機関が書いていないが

名古屋城：現状変更許可申請するが、掘削を伴わず、必要に応じて盛り土

宮武：表土の厚みを見ずに、どうして計算ができるのか

蜂矢：基本設計ボーリング 遺構面

宮武：ボーリングでは遺構面はわからない

千田：質問に答えていない

宮武：文化庁は通すのか

名古屋城：いまのところ

宮武：文化庁に聞いていないんですね

千田：名古屋市の答弁は驚愕している

熊本城 仮設橋を作ろうとしている

文化庁「橋を架けるところをすべて調査せよ」

計画を立てて、十分な保全策をたてて、許可される

名古屋城も当然ほぼ同等なので情報をつかんでいるはず

仮設の道の許可が得られるか

前提を欠いている

石垣部会として認められない

文化庁 当然求められる手順を踏んでいないので、「形式が整っていない」

客観的に突っ返される

本丸石垣調査、立面調査、御深井丸調査

現状変更許可を取るには1年はかかる

学芸員体制をつくるか 半年では終わらない

調査をしてから 国の特別史跡 「できれば」ではなく「絶対」保存する工法を提案する

はなからまったく成り立っていない計画

宮武：この問題にもあらゆる問題が集約されている

天守閣問題 こじれた

特別史跡 石垣調査がごっそり抜けている

また同じことを繰り返すのか

文化財保全のためにやっておかないといけない手続きをどうしてわからないか

熊本城 緊急性 ネットで保全 くいを打つにも現状変更許可

このギャップが根本原因ではないか

018 遺構面 支持力 強いんだという計算

外堀の支持力はボーリングだけで判断していないよね

トレンチ、遺構面をみて

なにをみて判断したのか

名古屋城：ボーリング調査に基づいて判断した

宮武：巨大な攪乱があるとさんざん言っていた

ボーリングデータはまだ

堀底にごみ穴が2メートル

範囲も規模もわかっていない

「大丈夫です」そのレベルでいいのか

019 沈下が起きる 万が一沈下が起きた

沈下した場合どうするか 工事留めるのか

名古屋城：沈下が計測した場合中止する

宮武：中止じゃ遅い

こうします は持っていますよね

千田：工事を止めてもなにもならない

どうするのか

名古屋城：今の時点では検討していない

宮武：安全に扱うつもりがあるのか？

1時間半の会議でやろうという

北垣：ひとこと言いたい

002 天端の穴蔵遺構 大天守 小天守

図 2-1-6 赤いしるし 穴蔵石垣に食い込む角柱

右手 おおざっぱな図 ケーソンが基礎にあって、建物があって

跳ねだし 赤で描かれている載ってくる

名古屋城：この部分（石垣 外と中の間）

北垣：こんなきれいなものではない

資料 2-5 青焼き写真 すでにコンクリート現天守 ここまで削り込んでいるという図

こういう状態がないんじゃないか

今度新しい計画 跳ねだしは前の状況より小さくなるのか、範囲が拡大するのか

前に材料いただいているが、さらに拡大しているように見えた

名古屋城：竹中から技術提案 青図を照合すれば、

残っている遺構を削ることになるが、

今の建物 天端から1メートル上にある

石垣穴蔵部分の発掘調査をしたあと、加工設置をできないか

北垣：実際の状況が解体しないとわからない

報告書のある部分を読んでいたら、発掘だけでなく調査

おおむね穴蔵に相当する天端 積み替えがなされていると言われている

その問題についても、部会できちんと説明を受けていないと思う

それは先にする必要があったのではないか

資料が手元に来たのはごく最近

速くやらないといけないのはよくわかるが、国の史跡の中の史跡

それだけに、遺構に対する発掘調査、観察はなされて、それをもとに議論していきたい

そう思ってきているが、現状でいえば説明が難しい状況

今の2つの図面に出ている

この後の青焼きの図 唯一の証拠写真 きわめて大事になる

発掘調査 どこまで穴蔵を発掘するのか 発掘しなくてもよいかもしれない

ひどいことになっているかもしれない

きっちり出してもらわないと

千田：議論が多岐にわたった

解体のご提案 「工学的安全性で現状変更許可をしてはどうか」 誤った認識

ボーリング調査だけ

証拠にならないもので立案されている

現状変更 工学的検討+文化財として歴史的価値を毀損せずに保存するか

熊本城をはじめ、現状変更申請をする

ご提案が整っていないか、史跡整備の基本に反するかが明らか

宮武委員 何度も同じパターンを繰り返している 未来が全くない

今までの議論 前提条件等して、全面的な発掘調査

遺構・遺構面の状況を把握するのが前提

石垣立面 すべての工事にかかわるところ 石垣カルテ作成

こういう保全策が必要」

御深井丸、内堀対岸、すべての図面をそろえて検討

そういったことを踏まえて工学的検討 国の特別史跡として、

埋蔵遺構を保全できるか 文化庁に現状変更許可が必要

石垣部会としては明確に求めた

石垣部会として「なんとなく懸念」ではなく、完全にアウト 名古屋市として認識を

報道機関も

赤羽：003 石垣保護対策の効果 大きなクレーン 天守台北面

均等に分散される 北面石垣 孕みが大きく、中に空洞 危ない

御深井丸石垣も濃尾地震なんかで、積みなおされたのか、脆弱な状態

こういう荷重をかけて、「モデルのように均等」本当か？

※ESP工法 高速道路、護岸工事

文化財であるのか？文化庁で認められた実績はあるのか？

逆に聞きたい

名古屋城：内堀保護 軽量盛り土を使う 土を使うより軽い

実績があるか？ 我々が知る限りは実績はない

仮設、クレーン やるという前提に立った時、どういうやり方があるか検討した

影響はゼロではない

やるなら影響が少なくする

工学の先生に相談して解析をしたもの 解析結果が妥当か

宮武：本音で話していただいた

文化財保全とキーワードが一致していない

ダイナミックなもの 大丈夫

トレンチ きわめて危険

基礎データが一致していない

片一方では大丈夫 片一方では解決できていない
モデル図 この真下に巨大なごみ穴があると提示
工学系の先生に提示したのか？

名古屋城：北面孕みの北 ごみ穴がある
地盤として安定している地盤とは言えない
そういったことを

千田：先生ではなく部会の指摘事項

名古屋城：解析するうえで、進めていく中で、
実際その部分に盛り土をする 影響があるかないか
地盤が動く 絞りだしの検討はしている
影響がゼロかというものではない

宮武：たった一本のトレンチでわかった
範囲も体積も不明
天守閣を木造・残そうがどうでもいい
石垣 ダメージがわからないから追加調査してください
工学検討
かい離にもほどがある
今までどおりにごみ穴 深さ 根石まわりの危なさ
どういふ方法で保護できるか議論したい
真新しい調査結果 説明してくれるんでしょね
すつとばして「仮設工事します」
「石垣部会からOK出してもらって現状変更したい」
どうしようもない
やってくれない

西野：もうしわけない
今後検討していく この後も出てくるがやっていきたい
名古屋市として方針として天守閣という建物が危険性が高い
石垣保全をしたうえで天守閣解体できないか
石垣保存をストップするわけではない
天守閣解体できないか ご意見をうかがっている
私どもとしては、石垣の対策は進めたい

宮武：足りない 進んでいない

何があるんですか？新しいものがあれば説明してほしい

北垣：宮武委員から説明いただいた

石垣部会として、十分納得できることが現状ではない

そういう中で、いまからあとから気にはなっているが、切り札、

前回以降検討したことがあれば出していただきたい

今でさえ前に行けない

14：32

名古屋城：2つ目の議題

調査結果

北垣：時間がないので要点だけ

名古屋城：資料2 7月に出したものの改定

2-1 まとめ

2-2 史実調査 宝暦修理調査

ポイント 勾配は宝暦修理と今の石垣の勾配は一致しない

理由とどう解釈は至っていない

2-7 図の7 穴蔵石垣 本来とどの程度同じか違うか

消失後 積み直し まったく一致してない

現天守の建て替えの時に変えた

根石 赤線が途中で切れている

2-18 まとめた

10点問題点 特に問題

モルタルの状況 北面の孕み出し 築石

モルタル 外から注入したもの 練積み 比較して分析しなおした

外から見る限界 おおむね練積み 一致する

注入 外からのもの 上から下まで見られる

ある程度対応 赤い点が積み直し

観察の限界 観察できる状態のまま

モルタル状況 どこにどんな状況

ビデオスコープが突っ込めるところ

水が止まるわけではない

数量的には今回は説明できない
北面孕みだし 下の写真 孕みだしを絵にした
慶長のところ 宝暦は
左側が急激 ほぼ水平
孕みだしの上がへこんでいるわけではない
レーダー 裏が空洞ではない
栗のゆるみがある
孕みのところに限って強いわけではない
築石の劣化状況 深刻なもの 緑色点線

14 : 42

宮武：次年度以降予定 時間がない

2-1 青図 進みました

真新しいこと 指摘しているところはやっていない

小天守 地震影響がわかった

把握していないからやりましょう 次年度以降

全く触れていない 検討しようがない

資料 19 モルタル 見直しはありがたい

大天守 裏側にコンクリートが仕込まれている

中は栗ですか？

名古屋城：土と栗ではないか

宮武：空洞よりもっと大変

後ろが空洞

内部深刻で押し出してくる

名古屋城：地山と境界

中の土砂が孕みだしに影響しているだろう

宮武：勾配のオリジナリティ 速くしないといけない

歴史的な興味・関心ではない

ダメージが生じている

大きく変わっている

全然進んでいない？

名古屋城：宝暦のところ

宮武：やっていない

堀底 ゴミ、根石裸

トータルして判断したい

1年間進んでいない

来年やるんですよね 堀底追加調査

名古屋城：3つめと4つ目

4つ目 堀底調査

宮武：あれだけの大工事 仮設工事トレンチ 考えないといけない

法制上把握しないといけない

堀底確認調査 文化財としての検討

搦め手馬出 国補助金をつかって

二の丸調査

新体制で、調査何人か

名古屋城：5名

宮武：調査できるか

名古屋城：1人調査

宮武：1人ずつで片付けないといけない

やれるのか

名古屋城：経験 十分といえない

なんとかやりたい

宮武：やりましょう→新年度 やれますか？

やれることとやれないこと

新年度体制いまさら

天守台解体前に、不安要素、問題 常識にそって

あと1月、2月でやろう

非現実的なことにわれわれ載っていかないといけない

千田：天守台石垣保全方針を出していただいたことはよいこと

天守台石垣保全だけ考えていても全くダメ

全体の石垣 今提案していただかないとなりたない

調査できる体制がない

現実的にできない

きわめて貴重な石垣を調査する

複数の専任態勢

急に退職されるとノウハウが失われる

5 現場 10 人学芸員が張り付いてはじめて成り立つ

文化庁的にも認めない

「目地」という用語は「使わない」何十回も指摘している

名古屋城：適切な用語が見つからないため

千田：「積み直しライン」

本質的な価値をもつ石垣 現存している

竹中が提案したという跳ねだし加工 いったん石垣を外して工事を行うというものは

文化庁の方針に明確に抵触する

部会が以前指摘した

西野所長は記者会見で「千田の個人的意見」と発言したが撤回を

部会としての意見

宮武：驚き 文化庁は鼻で笑っていた

「江戸時代の石垣をはずすなんてありえない」

論外の工法

北垣：資料 2-2 史実調査

慶長年間 公儀普請

二条城などの勾配と同じ

安土時代より加速的に高くなった 安定性も加味された

本来ならば天守台にも残っていてほしい

確認するためにいろいろ調査をしていただいた

宝暦文献 緒に就いたばかり

私たちに文献が与えられなかった

竹中現場にお会いした

現場は大変な思いでいいものを残したい 悪い部分はなんとかしないと苦労している
名古屋城の一番本来あったもの
宝暦段階で大きく変わっている
現象的 それぞれの時代の資料 どんな勾配を持っていたか
宝暦でどう変化したか
今やっているのは部分の話
もともとの話はこう
なぜ本物はどうだったか
きっちりやってもらわないと
今までにやってもらいたかった
部会も努力している
今日の話も全般的にここをちょっとしてくれれば前に進んでいたはず
今言っても仕方がない
解消するための第一歩に
この後見ていただく慶長・宝暦遺構が残っている
見てもらわないと
話をなんぼやっても机上の空論
マスメディアの方に見てもらいたい

西野：方針について、先生方について調査の進展が見られない

堀底健康度がわからない
体制が不十分
史実調査がまだできていない
受け止めさせていたきたい
千田先生「跳ねだし加工 宝暦の石を外すことになるので石垣部会として認められない」

千田：かい離 2-23 強い熱を受けた

第1の議題 埋戻しをしてクレーン 埋まるどころ
工学的 石垣は軽微な影響
触ったら剥離してしまう いかにか守るのかという対策があつて是非
自分たちでまとめておきながら、モニタリング
第1の議題となにも関係ない
組織として話し合つて、つじつまがあるような資料を
全然進まない
部会で言ったことを受け止めていただいて
聞いていただいている報道機関も

名古屋市に反省してほしい

宮武：事前に作っちゃう前に聞いてほしい

「変状が起きた場合どうする」いやらしいことを聞いたが、こういう方法があるといえる

なんでこんなことが起きるか？全部コンサルに任せているから
そらで言えますか？

こんな停滞はない

こちらでも提案できることはある

「今日分科会で言われたから竹中よろしくね」ではない

石垣部会では全然ない

いきなり資料が送られてきている

だからこそ確認したい

文石協にお願い 立ち位置を明確にしてほしい

どう考えているのか 新年度以降は

名古屋城：コンサル 文石協の事務局を訪問した

経緯 役員名簿からコンサルの2人をお願いした

位置づけ 名古屋市が石垣のアドバイスをいただく

宮武：アドバイザーである

アドバイスをいただくというもの

名古屋城：依頼して、技術的なご助言

宮武：明文化してほしい

北垣：技術的な面でのアドバイザー

もっと的確な言葉 適切な保存をはかるためのアドバイザー

宮武：遺跡保存のために適切な保存をはかる

千田：名古屋市が名古屋城の大小天守閣の

石垣の適切な保存をはかるためのアドバイザー

明確にしないと

北垣：結局、あとの項目 十分に検討する時間が無くなった
どうですか？致し方がない

赤羽：3番目 担当者をどうするか

文化庁も、工事計画だけでなく、担当者も判断材料になる
4月 調査研究センター これまで今年も1人退職退職された
去年も退職された
個人的な理由も
これだけ続くというのは、担当者に負荷がかかっている
本人に話を聞いても、そう
現場の進行管理仕事 現場調査にかかわる
工事が進んでいく 記録化
報告書を作成する データ蓄積
目の見えないところで苦勞している
先ほど5名埋蔵文化財担当者でできるか
担当者が死にますよ 文化庁が認めるはずがない
文字ずらではなくみせてほしい

西野：実際に調査実施する場合、文化庁と相談して
調査研究センター 市全体で検討したい

千田：資料3 調査体制が伴っていない 再検討を
1番目の議論 御深井丸 内堀調査 全く不十分
石垣部会であらためて検討する
年度替わって提案してほしい 十分議論したい

北垣：新年度に対し、どうするか

見ていただくものがある 体制どうするのか
可及的速やかに
時間になりました

名古屋城：堀底調査

資料4

宮武：なぜ事前に説明しないか

人も足りない

千田：切り離してできない

どの範囲で調査するか不明 議論できない

宮武：補助金でやるんでしょう

現状変更は

名古屋城：市の金でやる

千田：調査体制がたりない

宮武：議論は無理です

千田：調査体制がたりない

赤羽先生の話聞いていたか？

西野：来年度調査については事前に石垣部会に諮りたい

15：16

岩本： 長時間ありがとう

市の会見のあと石垣部会の会見